

うどのにしいせき 鵜殿西遺跡第2次

所在地：みなみむろくんきほうちょううどの
南牟婁郡紀宝町鵜殿 地内

交通：車で津・伊勢方面から来た場合

熊野尾鷲道路熊野大泊ICから国道42号線を南下し、県道35号線へ左折、「矢渕」信号で右折して北に100m程です。時間は熊野大泊ICから30分程です。津ICおよび伊勢ICからの所要時間は約2時間です。

鉄道で来た場合

JR紀勢本線「鵜殿駅」から出て右折し、県道沿いを新宮方面に歩き、「矢渕」信号で右折して北に100m程です。駅からの所要時間は徒歩約20分です。

位置情報URL：[三重県地図情報サービス](#) [鵜殿西遺跡発掘調査現場](#)

調査期間：平成30年10月上旬から平成30年12月上旬

調査面積：851 m²

鵜殿西遺跡の調査が始まります

鵜殿西遺跡は、熊野川河口部の北岸に立地します。昭和62年および63年に当時の鵜殿村教育委員会が行った調査では、平安時代や戦国時代の陶器椀、明（現在の中国）から輸入した磁器が出土しています。

遺跡の西側には、鎌倉・室町時代にこの地を治めていた鵜殿氏の居城である鵜殿城があり、遺跡や鵜殿の町並みが見渡せます。また、付近には熊野古道の伊勢路が通り、熊野川にも面することから陸上・河川交通の要所でした。

どのような人たちが鵜殿に暮らしていたのでしょうか？それを解き明かしてくれるような遺構や遺物が土の中から現れるかが楽しみです。

<問い合わせ先>

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町字松本471

三重県埋蔵文化財センター調査研究2課 担当者：源口・鐸木

電話：0598-42-7960

FAX：0598-42-7961



● 鶴殿城から眺望した調査地と鶴殿市街地



● 調査地周辺の交通案内